

目 次

第Ⅰ部 労働基本権は闘いとるもの	弁護士 北川鑑一	2
------------------	----------	---

第Ⅱ部 労働基本権をみすえた賃金闘争・権利闘争		51
-------------------------	--	----

はじめに

戦後80年もたつのに、憲法にある労働者の基本的権利は、最も基本的権利がないがしろにされたままです。

日本政府は、国際的にも認められている権利を、まったく認めようとしていません。敗戦・米軍の占領下で押し付けられた労働基本権の否認をそのまま法律にして、その後は国際社会がなにを言おうと無視したままです。

第1部は、労働基本権とはなにかをまなぶための頁です。北川弁護士の軽妙な語り口で、労働基本権の歴史や、労働基本権が奪われてきた歴史、司法がどのようにそれを手助けしてきたのか、そして、憲法や最新の労働法制についての話です。

第Ⅱ部は、国の省庁ではたらく仲間たち、自治体ではたらく仲間たちが、団結することを制限され、当然の権利の行使である争議権は奪われ、労使で労働条件を交渉し合意しても労働協約を結ぶことさえ認められていない状況を、運動、闘い、工夫をつうじた労働基本権の内実を奪いかえす努力を報告しています。ぜひ、全国の仲間を思い浮かべながら読んでみて下さい。

この本が、「労働基本権」の学習に、第2に、いま取り組まれているさまざまな闘いを結びつけることに役立てていただければ幸いです。

全国各地の労働組合からの闘い、取り組みの報告をつなげていただいた自治体問題研究会の先輩・仲間の皆さん、快く寄稿していただいた国公の皆さんや政労連の皆さんのお力添えなしにはこの本はできませんでした、心からお礼申し上げます。

『公務労働者の労働基本権』刊行委員会

第Ⅰ部 労働基本権は闘いとるもの

弁護士 北川鑑一

一 労働基本権前史	2
1 自由の時代(18～19世紀)	
2 社会権の登場	
二 日本国憲法と労働基本権	7
1 日本国憲法の社会権	
2 日本国憲法の労働基本権	
三 日本の労働法	10
1 労働基準法	
2 労働契約法	
3 労働者派遣法	
4 パートタイム労働法	
5 労働審判法	
6 労災補償法	
7 労働組合法	
四 公務労働者の権利・自由	37
1 特別権力関係論	
2 公務労働者と各種労働法との関係	
3 公務労働者の争議権	
4 公務労働者の政治活動	
五 おわりに	47

第Ⅱ部 労働基本権をみすえた賃金闘争・権利闘争

労働の権利を学び、実践することが権利を獲得する道

自治労岩手県本部 及川隆浩……………52

【36協定を手掛かりに拡大する】

36協定締結拒否を背景に人員増を求める闘い

香川県職員連合……………62

36協定は労働条件を改善する大きな武器

富山県職労 中病地区……………66

時間外上限規制に取り組んで15年

M市職労……………70

【賃金と労働条件をたたかいつづける】

新潟県職労医療部会のたたかい

新潟県職労……………74

【団結することさえ奪われている】

消防職員の労働基本権は当然のこと

『公務労働者の労働基本権』刊行委員会……………78

【国家公務員労働者・労働組合】

話し合える仲間を大事にし、働きやすい職場にしていこうため努力を

『公務労働者の労働基本権』刊行委員会……………82

【国家公務員を超えさせない】

課題を共有しともにたたかう 課題を焦点化し統一闘争の再構築を

政労連OB 豊島栄三郎……………86

変革を求められるとともに、国が定めた施策のもとに業務を遂行する職場

基金労組 浅利清崇……………90

【公務災害認定闘争】

紙切れ1枚で命まで売らない

自治労香川県本部 小野賢治……………92

【労基法適用職場になって】

労働基準法などが適用される職場に変わって

社会保険関係労働組合連合 千葉宏和……………96